

保育所入所状況(令和7年4月1日予定/令和7年3月1日時点) 単位:人

	施設名	認可 定員	利用 定員	入所児童数（受託分含む）						
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
公立	塩田保育園	90	45	1	4	1	8	6	7	27
	中田保育園	90	50	0	7	10	7	16	17	57
	大町保育園	80	45	1	5	4	5	4	7	26
	生穂認定こども園	90	75	2	7	15	10	16	19	69
	北淡認定こども園	180	130	0	14	14	22	37	24	111
	一宮認定こども園	180	145	2	10	22	25	27	35	121
	仮屋保育所	140	120	1	6	11	20	28	33	99
	浦保育所	120	100	0	2	8	21	15	22	68
公立計	8	970	710	7	55	85	118	149	164	578
私立	志筑保育園	110	110	2	12	20	26	27	25	112
	認定こども園恵泉保育園	105	105	0	4	15	25	25	27	96
	佐野保育園	20	20	0	1	6	2	7	3	19
	聖隷こども園夢舞台	120	105	1	12	18	22	19	35	107
	ちびっこランドちどり	12	12	2	4	6				12
	ちびっこランドぬくもり	6	6	2	4	7				13
私立計	6	373	358	7	37	72	75	78	90	359
合計	14	1,343	1,068	14	92	157	193	227	254	937
地区別	津名	591	456	8	44	78	83	101	105	419
	岩屋	120	105	1	12	18	22	19	35	107
	北淡	180	130	0	14	14	22	37	24	111
	一宮	180	145	2	10	22	25	27	35	121
	東浦	272	232	3	12	25	41	43	55	179

工程は、建設地の決定や地質調査により適宜見直しを行い、令和11年4月開園を目指します。

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
住民説明会 候補地選定	用地取得 地質調査 造成設計	基本実施設計 造成工事	園舎建設工事 備品搬入	開園

※『淡路市新設こども園基本構想・基本計画』は淡路市ホームページに掲載しています。



淡路市新設こども園 基本構想・基本計画 [概要版]



『こころ豊かに、たくましく伸びる子どもを育てる』

令和7年3月

淡路市健康福祉部子育て応援課

1. 計画策定の背景と目的

淡路市では「淡路市保育所等適正規模推進計画」（以下「適正化計画」という。）を策定し、平成20年度から平成30年度の間に、保育施設の適正な規模と配置による保育環境改善のための再編を進めてきました。

本策定は「適正化計画」に基づき、**津名地域の公立保育園（塩田保育園、中田保育園、大町保育園、生穂認定こども園）**について、既存施設の課題等を調査し、新設こども園建設を含めたこれからの子育て施設に求められる与条件の検討とともに、適正規模・適正配置に向けた保育施設再編の基本的な方針を示すものです。

2. 子育て環境に関する保護者・保育関係者の意識調査

（1）子育て世代のニーズ調査（令和5年度）

保護者からは、施設の老朽化の改善や駐車場の確保、不審者対策など安全に関する意見が挙げられました。また、津名地域に多い意見として、子どもの年齢にかかわらず、希望の園に入園できることが安心して産み、育てていくことに繋がっているといった意見がありました。

保育内容の見直しとともに、一時保育や病児・病後児保育といった保育サービスの拡充についての要望があることも確認できました。

（2）新設こども園基本構想・基本計画策定検討会（令和6年9月26日 @淡路市役所）

市内公立保育園、認定こども園（計8園）の各園長と、事前に行ったアンケート調査の結果をもとに、『現状の把握』と『基本構想での検討事項』の2つのテーマについて検討会を行いました。

『現状の把握』についての主要意見は、①施設・設備の老朽化 ②各諸室面積の不足 ③雨天時の園庭代替スペースの確保 ④子どもの動線を考えた水回り ⑤執務環境の改善

『基本構想の検討事項』についての主要意見は、①求められる保育サービスの充実 ②入所児の適正規模 ③給食の方法 ④地域と園とのかかわり ⑤快適な園児用トイレ ⑥園庭の設え

（3）市民参加型ワークショップ（令和6年12月1日、令和7年2月8日 @津名図書館）

淡路市における保育施設の現状と課題を市民の方々に周知しながら、淡路市らしい理想のこども園を創り上げていくことを目的に市民参加型ワークショップを開催しました。代表的な意見としては、①防災・災害対策 ②柔軟な保育時間の対応 ③天候に左右されない保育環境 ④淡路市の自然や食など地域資源の活用 ⑤地域コミュニティの導入 ⑥働きやすい職場環境

3. 新たな子育て環境の拠点づくり

（1）新設こども園の整備の基本方針

津名地域の公立4園はいずれも築40年以上経過しており、設備の老朽化、園児室等の広さや安全面など機能面での課題があります。既存園舎の竣工当時と比べて社会的背景も大きく異なり、3歳未満児の入所率が年々増加している現状において多様できめ細やかな保育に対応するためには、各年齢の発達に応じた保育環境と設備の整備が必要です。

そして、一時保育や療育支援など、子育て世帯のサポートを行う新たな子育て施設として、地域社会とつながり支え合う拠点性をもつ施設整備を進めます。

（2）再編について

年齢ごとに適正人数による保育を実現するために、**塩田・中田・大町保育園を1園に統合し、生穂認定こども園は改修も見据えながら存続させ、公立2園体制**とします。その上で、津名地域の私立4園と共生的発展を目指し、施設面・運用面のサービスレベル向上を図ります。

（3）新設こども園の定員の想定について

新設こども園の定員については、年齢毎の人口に対する入所率とともに、淡路市子ども・子育て支援事業計画の趣旨である「質の高い幼児期の教育・保育の総合的な提供」「保育の量的拡大・確保」「地域の子ども・子育て支援の充実」の実現を図るべく、以下の4つの要素を参考に適正規模を130人程度と想定します。

- ① 既存3園（塩田・中田・大町保育園）の現在の定員数と入所数実績
 - ② 園舎の建替えやこども園化に伴う保育サービスの向上による利用率増加
 - ③ 子どもの成長に合わせた年齢別保育（3歳以上）の実施が可能なクラス編成の実現
 - ④ 職員数の配置基準を考慮
- ※ 1歳児の職員配置基準については、将来的に5：1になることを想定した計画とします

新設こども園の想定人数			
年齢(歳)	児童数(人)	職員(人)	職員配置基準(国)
5	30	2	1/25人
4	30	2	1/25人
3	30	2	1/15人
2	18	3	1/6人
1	15	3	1/5人
0	6	2	1/3人
合計	129	14	

4. 本市の目指すこれからの保育環境のあり方

これまでに地域で培われてきた保育の考え方や保育内容とともに、多様な保育方針を具現化するための園づくりを進めます。

①地域に開かれた保育施設

- ・地域とともに子どもたちを育む環境づくり
- ・親も気軽に相談できるなど子どもと一緒に育つ施設づくり（子育て支援室、相談カフェなど）

②幼児期に求められる保育環境

- ・自然とのふれあいや、木のぬくもりと香りを感じる木造園舎で、子どもの感性や想像力を育む
- ・天候に左右されず、のびのび活動できる園舎

③子どもたちの多様性を受け入れる設え

- ・各諸室は建具などで仕切り、様々なシーンに対応できる柔軟性のある間取
- ・人やモノとの出会いを通じて多様な「遊びと体験」ができる空間づくり

④安全で安心して利用できる施設

- ・災害時の安全性確保・セキュリティ対策
- ・自然素材を使い、健康に配慮した園舎
- ・主要道路からの視認性と広い駐車場の確保

⑤地産地消・伝統工芸の活用

- ・淡路瓦や左官職人とのコラボレーション
- ・兵庫県産木材の積極的な活用
- ・地域の食材を活用した食育の促進や行事

⑥子どもたちが主体的に考え遊ぶ園庭

- ・築山や樹木、水場など、変化のある環境づくりで淡路の自然を五感で感じる
- ・猛暑日にも活動できる日陰スペースの確保



地域に開かれた保育施設のイメージ



木造架構のイメージ